

ま え が き

本市では、まちづくりを進めるにあたり、現状を的確に把握し、今後の施策を実施するEBPM（Evidence Based Policy Making：証拠に基づく政策立案）の資料とするため、市の主要なデータを集約したグラフ郡山「データブック」を毎年最新のデータにより集約しています。このデータブックは、人口や各産業に係る数値など「149項目」にも及ぶ、様々なデータをグラフにするなど「見える化」を図り、郡山市の現状周知に努めています。

この度、最新データによるグラフ郡山「データブック」2024を作成しましたので、ご活用くださいますようお願いいたします。

地域経済分析システム「RESAS」もご活用ください!

- ・ RESAS（リーサス）とは？

（地域経済分析システム：Regional Economy Society Analyzing System）

地域経済に関する様々なビッグデータ（産業の強み、人の流れ、人口動態など）を、地図やグラフで分かりやすく「見える化（可視化）」したシステム。



- ・ RESASは「便利なツール」。自分でグラフ作成が不要なので、様々な分野について、他の地域と比べながら調べることが簡単にできます！
- ・ 観光関連の民間データも、RESASなら無料。自治体以外にも、商工団体、地域金融機関、民間企業、教育機関、地方議会関係者など、様々な方がRESASを利用しています。
- ・ 項目に★マークが入っているグラフは、「RESAS」においても同様のデータを取得することができます。

【本書の特徴】

このグラフ郡山「データブック」は、郡山市の現状をグラフ等でわかりやすくまとめたものです。

【利用にあたって】

- 1 図表中、特に表記がない限り、年とあるのは暦年（1月～12月）、年度とあるのは会計年度（4月～3月）です。
- 2 数値の端数処理は原則として四捨五入をしているため、構成比を合計した場合、100%とならない場合があります。